

<精神に障害のある方の気軽な相談場所・交流の場>

地域生活支援センターあさやけ通信「風」5月号

社会福祉法人 ときわ会 地域生活支援センター あさやけ

〒187-0031 小平市小川東町 4-2-1 小平元気村おがわ東 1階

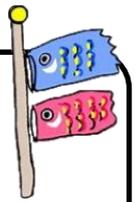
TEL (相談用) 042-345-1741 (事務用) 042-345-2077

FAX 042-345-1734

E-mail kaze1741@asayake.or.jp

ホームページ

http://www.asayake.or.jp/center_asayake.html



～中高年の引きこもり61万人超え、8割近くが男性～ 家から出る“きっかけ”の支援があれば…!

内閣府は3月29日、40歳～64歳の中高年を対象に初めて実施した「引きこもり」に関する調査結果を公表した。今回の調査では、「趣味の用事の時だけ外出」「近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが家から出ない」「自室からほとんど出ない」という4つの問いを設定し、このうちいずれかに該当、かつ6ヵ月以上その状態が続いているケースを広い意味での引きこもりと定義している。

調査は、昨年12月に全国の男女5000人を対象に調査票を配布、回収する方法で実施。有効回答は3248人(回答率65%)、このうち引きこもりに該当する人は47人で、有効回答に占める比率と総務省の人口推計(40歳～64歳、約4235万人)を掛け合わせて算出した。

【調査結果】

引きこもり状態にある人のうち、男性は76.6%、女性は23.4%であった。引きこもり期間は、「3～5年」が21.3%と比較的多く、「30年以上」も6.4%あった。引きこもりが始まった時期は、20代が27.7%、30代が8.5%、40代が21.3%、50代が9.1%と各年代に広がっている。引きこもりのきっかけは「退職」が17人で最多、「人間関係がうまくいかなかった」と「病気」が10人で続いた。

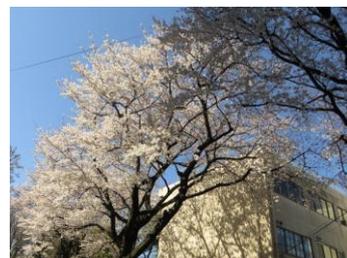
引きこもり経験者に「引きこもりを脱したきっかけ」を尋ねたところ、「再就職をした」「友達に趣味に誘われた」といった答えが目立った。内閣府は今回のデータを今後、雇用・福祉などの政策に反映したいとしている。中央大学の教授は、「引きこもりは増加傾向にあり、それは、親と同居する未婚者の増加と深く連動している。引きこもりの4分の3が男性であることに関して、男女を比べた場合、日本社会は学歴や職歴を重視し、男性がより厳しい立場に置かれる社会のため、結果として男性が引きこもる可能性が高くなる」と分析している。

さらに深刻な問題として「親の経済力に頼っている引きこもりは、親が亡くなった時にどうするのか」という点が挙げられ、早期に対策を打たなくてはならない状況にある。

小平市でも、今年に入って引きこもりの家族の会をつくる動きが起きていて、3回の学習会が開かれている。私たちの支援センターも、過去に引きこもっていた方が利用していたり、家族からの相談を受ける場になっている。交流室や相談を利用してもらうことで、引きこもり脱出のきっかけになればと思う。

支援センター活動報告

お花見をしました❀



3/28はお花見でした。

暖かい日が続いたので、元気村の桜もきれいに咲いていました♪

当日は少し肌寒い陽気でしたが、お菓子や飲み物が盛りだくさんで、にぎやかなお花見になりました。



支援センターのお知らせ



プログラム変更のお知らせ



- SST 5月～ 第2週目の木曜日になります。
- カレー夕食会 4月～ 月1回（月曜日）になります。
- ガールズデー 廃止となります。
- ひるごはん 4月～ 場所が調理室ではなく、交流室になります。

※いずれのプログラムも時間は変わりません。

また、職員体制の都合上

- 4/25（木） 「メンバー学習会」はお休みで、風の会のみとなります。
- 4月「ゆうごはん」はお休みです。



外国からのお客様がきます！

アルバーノ大学（アメリカ）から東京女子医科大学にきている留学生が、支援センターあさやけに見学に来ます。

それに伴い、プログラムの時間が変更になります。

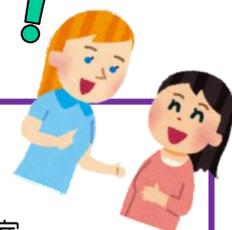
日時：5月28日（火）

10時45分～12時

場所：支援センターあさやけ交流室

内容：留学生との茶話会

★通訳がいます。英語が話せなくても大丈夫です。



2019年度 登録更新手続きについて



今年度も支援センターあさやけを利用したいという方は、更新手続き（面接・要予約）が必要です。



- ・更新期間 4月1日～7月末日
- ・必要なもの 登録料1200円、印鑑（サインも可）

※混雑が予想されるため、1日3件のみの予約受付になります。ご希望日をお早めにご予約ください。

※予約無しの場合、面接をお断りする場合があります。

※更新を希望されない方は、お手数ですが、電話・来所にて職員にご連絡ください。

おたのしみ会！

日時：5月1日（水） 午後2時～

参加費：100円

内容：みんなで軽食をつくりながら
わいわい楽しみましょう！

何をつくるかは、当日のお楽しみです☆

※予約制ではありませんが、参加希望の方は交流室にある名簿に名前を書いてください。

ゴールデンウィークの開所日について

5月の大型連休に伴い、支援センターの開所日に変更があります。

開所日：4/27（土）、4/30（火）～5/2（木）

閉所日：4/28（日）～4/29（月）、5/3（金）～5/6（月）



4/27(土)	4/28(日)	4/29(月)	4/30(火)	5/1(水)	5/2(木)	5/3(金)	5/4(土)	5/5(日)	5/6(月)
	閉所日	昭和の日 閉所日				憲法記念日 閉所日	みどりの日 閉所日	こどもの日 閉所日	振替休日 閉所日

地域のおしらせ

国立精神・神経医療研究センター病院家族会「むさしの会」

4月例会・学習会のお知らせ

日時：2019年4月27日（土） 午後1時～午後4時半

場所：国立精神・神経医療研究センター病院 中央館3階 コスモホール

内容：講演会 午後1時～午後2時半

演題 「リハビリ支援のための研究と政策」

講師 博士（医学） 藤井 千代先生（NCNP 地域・司法精神医療研究部長）

懇談会（休憩10分のあと） 午後2時40分～午後4時半

参加費：200円（当事者の方無料）

問合せ：むさしの会 会長 住本知子

TEL/FAX 042-572-6028



地域生活支援センターあさやけ

<開所時間> <相談> / <交流室>
 月～金 午前10時～6時 / 12時～6時
 土 午後12時～午後6時
 日・祝日 閉所



2019年

月	火	水	木	金	土	日
4/29 昭和の日 閉所日	4/30	1	2	3 憲法記念日 閉所日	4 みどりの日 閉所日	5 こどもの日 閉所日
6 振替休日 閉所日	7	8 女性のための ・・・書道	9 SST	10	11	12
13	14 ㊦今日の料理 ひるごはん	15 ㊦女子会	16	17	18 サタデー ひだまり	19
20 ㊦カレータ食会 *4/15～ 予約を受け付 けます。	21 ピアサポート ～なかま会～ 「初対面の時、 気を付けること」	22 女性のための ・・・書道	23	24	25	26
27	28 風の会 ㊦今日の料理 ゆうごはん	29	30	31		

10:45～ アメリカからの留学生との茶話会
 *通常の時間と異なります。 詳細は2面へ

プログラム ㊦マークのものは事前予約が必要です。

<通常プログラム>

- 風の会&メンバー学習会 ・3時 ～ 4時
- 女性のための書道 ・10時半～12時
- 女子会 ・10時半～12時
- ピアサポート～なかま会～ ・3時 ～ 4時
- SST ・4時半～5時半
- 今日の料理 ひるごはん ・10時半～12時半
- ゆうごはん ・3時半～5時半
- カレータ食会 ・5時 ～ 6時

- センターの活動報告、テーマごとの学習・ミーティング。
 参加費 50 円。書道とお茶会。女性メンバーが集う場。
- ㊦ガールズトークが楽しめる茶話会。参加費 100 円
 テーマに沿って、なかま同士が気持ちや体験を語る場。
 みんなでゲームをしたり、困ったことを話し合えるプログラム。
- ㊦参加費 300 円。調理・片づけの自炊の練習。
- ㊦参加費 300 円。手作りカレーをみんなで食べる会

<家族グループ・市民活動>

- サタデーひだまり ・1時半～4時
- けやき会家族相談会 ・1時半～

元気村2階第二会議室。一杯 100 円で飲み物にお菓子も付きます。
 家族のための相談・学習の場